



# 営農NEWS



## レタス斑点細菌病や菌核病の防除を徹底しましょう

レタス栽培では、定植から順調な生育が続いていましたが、今月の台風 18 号および 19 号の襲来などで集中的な降雨や強風などがあり、病害の発生しやすい圃場環境となっています。

病害虫発生速報No.7（県病害虫防除所）によりますと、「10 月上旬現在、レタス斑点細菌病の発病株率および地点率とも 昨年より高く、また、菌核病の発病株率は昨年よりやや高く、地点率は昨年より高い」状況となっています。

レタス斑点細菌病は、年次や品種間により発生に差異がみられますが、本県では昨年に続き、発病の目立つ圃場が散見されています。また、レタス菌核病は、例年、早生の作型では 10 月上旬頃から、中生・晩生の作型では 10 月下旬頃の結球期以降から発生が多くなる傾向があります。今後、各作型に合わせて、薬剤の収穫前日数に十分注意して、予防に努めてください。特に、前作で斑点細菌病や菌核病が発生していた圃場に連作した場合は、十分な注意が必要です。

さらに、レタス腐敗病も収穫期近くになって降雨が多くなると、急速に発病する場合がありますので、同じ細菌病の斑点細菌病や軟腐病と同様に予防に努め、発病を確認したら防除を徹底してください。

### 【防除のポイント】

- 1 多湿な圃場環境は、発病を助長しますので、排水対策など改善に努めてください。
- 2 薬剤散布にあたっては、株元や下葉、葉裏にも薬液が十分かかるよう丁寧に散布することが重要です。
- 3 防除薬剤は、下記を参考にレタスの収穫前日数に十分注意してください。
- 4 被害茎葉は翌年の伝染源となるため、出来るだけ圃場外に持ち出し、土中深く埋めるなど適切に処分してください。特に菌核病は、黒い菌核を作る前に圃場外に持ち出しましょう。

表 1 レタス斑点細菌病の主な防除薬剤（平成 26 年 10 月 22 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
カセット水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
カスミンボルドー	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 4 回以内
Zボルドー	500 倍	- / -

表 2 レタス菌核病の主な防除薬剤（平成 26 年 10 月 22 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
アフェットフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内
ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～3,000 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内
スミレックス水和剤	1,000～2,000 倍	収穫 7 日前まで / 5 回以内

表 3 非結球レタス菌核病の主な防除薬剤（平成 26 年 10 月 22 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
アフェットフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内
ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～3,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内
カンタスドライフロアブル	1,000～1,500 倍	収穫 14 日前まで / 1 回

表 4 レタス腐敗病の主な防除薬剤（平成 26 年 10 月 22 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
スターナ水和剤	2,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
カセット水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
カスミンボルドー	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 4 回以内
バリダシン液剤 5	800 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内
Zボルドー	500～800 倍	- / -

表 5 非結球レタス腐敗病の主な防除薬剤（平成 26 年 10 月 22 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
ジーファイン水和剤	1,000 倍	収穫前日まで / -
Zボルドー	500～800 倍	- / -
バリダシン液剤 5	800 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内

農薬を使用する際は、ラベルに記載の登録内容、使用法、注意事項などを確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040